

デジタル技術やデータを活用して、 新たな価値を創出する

デジタル社会に
向けた目標

「誰もが、デジタル化の恩恵を享受できる都市 ふくやま」の実現



福山みらい創造ビジョン

3つの柱

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策の強化
- ・ 都市魅力の創造
- ・ 人口減少対策の強化

本計画

行政版デジタル化実行計画

行政のデジタル化

相互連携

産業・地域版デジタル化実行計画

産業のデジタル化

地域のデジタル化

デジタル化の推進は、
3つの柱を支える基
盤。

推進体制

- ・ デジタル専門人材の活用
(CDO・CDO補佐官として外部人材を活用)
- ・ 官民連携による会議体の設置
(中小企業や地域団体のデジタル化を推進)

行政における 目標

「行政サービスをいつでも、どこでも受けられるスマート市役所」の実現

基本方針①：市民サービスの向上

 行かない、書かない、待たない行政手続の実現

いつでもどこでも申請や予約が可能に！

基本方針②：行政内部事務の効率化

 人にしかできない業務へシフト

業務の効率化とスピード化を実現

基本方針③：デジタル基盤整備と人材育成

 デジタル化推進のための基盤整備

誰もが等しく行政サービスを受けられる基盤を整備
庁内デジタル化推進体制の構築



市民サービスの向上

行政手続きのオンライン化

- ・ オンライン手続きの拡大
- ・ マイナンバーカードの普及促進
- ・ 問い合わせ自動応答サービスの分野拡大
- ・ 公民館等の貸館利用におけるスマート化
- ・ 公共施設予約システム拡大
- ・ キャッシュレス決済の推進
- ・ フレイルチェックのデジタル化
- ・ 健康増進アプリの導入
- ・ 電子図書貸し出しサービス



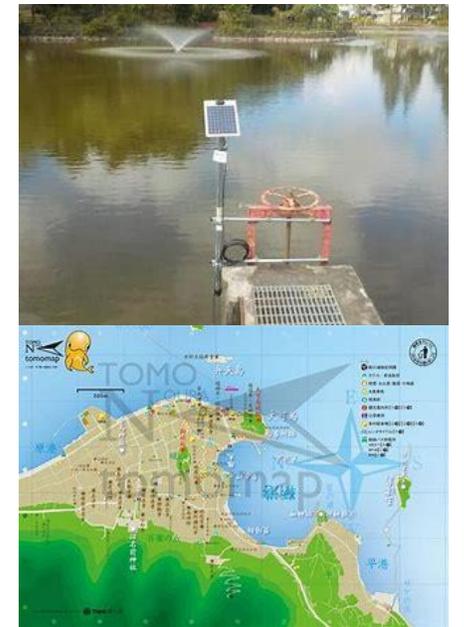
窓口のスマート化

- ・ 窓口予約システムの導入
- ・ 子育て支援アプリの機能拡充
- ・ ワンストップサービスの導入
- ・ 書かない窓口システムの導入



情報発信の最適化

- ・ 情報発信の充実
- ・ デジタルサービス講習会の実施
- ・ 高齢者デジタル活用支援事業
- ・ 地域情報のデジタル化
- ・ 水位監視システム整備
- ・ 避難情報一括送信システムの導入
- ・ デジタル観光マップの整備



行政内部事務の効率化

デジタル活用による業務効率化

- ・ RPAの導入業務の拡大
- ・ 文書管理システムの導入
- ・ スマート保育の実施
- ・ 消防団アプリの導入
- ・ 民生委員のタブレット端末の活用
- ・ 子ども見守り、成長支援事業



多様な働き方の実現

- ・ テレワーク環境の整備及び利活用
- ・ 庁内ネットワークの無線化
- ・ インターネット用タブレット端末の活用



デジタル基盤整備と人材育成

市民サービスに係る基盤整備

- ・ 光ファイバ網の整備
- ・ Wi-Fiスポットの整備
- ・ ICT教育環境の整備



行政内部の基盤整備

- ・ 情報システムの標準化対応



デジタル化推進体制の構築

- ・ 組織体制の整備
- ・ データの利活用
- ・ デジタル人材の育成



行政のデジタル化について、 議会や委員会で議論されてきたテーマ

新型コロナウイルス感染症による影響と対応するデジタル活用の観点など

市民ニーズ

新しい生活様式
への対応

働き方改革
への対応

目指す社会像

新たなコミュニケーション手段
への対応

個人情報の保護や
情報セキュリティ

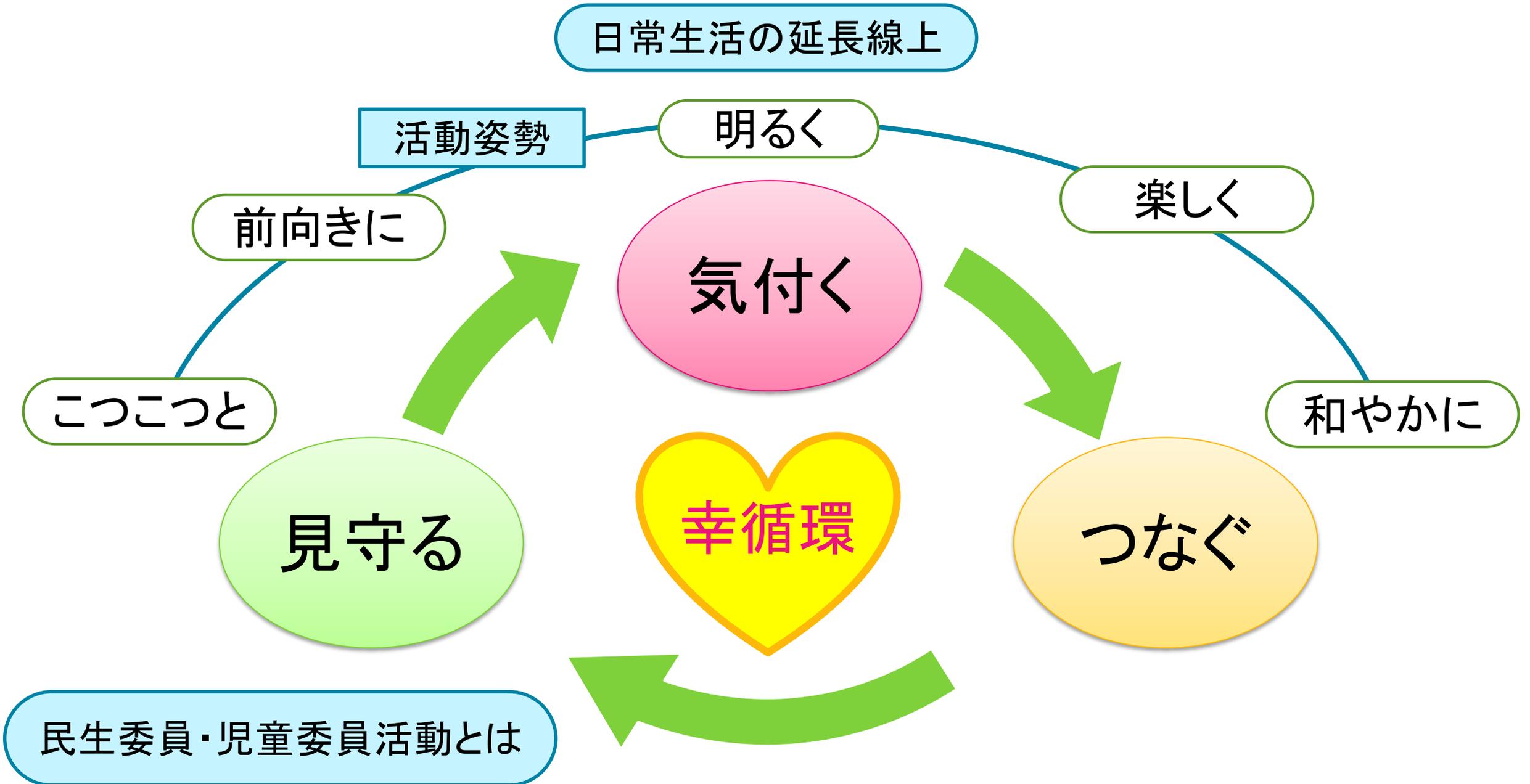
安心安全な地域づくりや
地域課題の解決

行政事務の効率化と
行政サービスの充実

市民サービスの充実で
利便性や満足度の向上

デジタル格差の
解消

民生委員・児童委員活動の理想像



日常生活の延長線上にあり、地域福祉の向上に向け、「気付く」、「つながぐ」、「見守る」なかでの社会奉仕活動

民生委員・児童委員の委属・解属状況(欠員14名)

	総数	民生委員	主任児童委員
2014年4月1日	880	68	68
2015年4月1日	880	67	67
2016年4月1日	814	67	67
2017年4月1日	880	67	67
2018年4月1日	881	67	67
2019年4月1日	881	67	67
2020年4月1日	870	67	67
2021年4月1日	871	80	67
2022年4月1日	873	805	68

欠員が生じると隣接する
地区がカバーしなくてはならない
負担がさらに大きくなっている

平均年齢
68歳

本市はデジタルを基盤に
行政施策を進めている

12月の一斉改選後に
試験導入予定

民生委員・児童委員へのタブレット支給

自治会でデジタル化を進めている事例

LINEを活用した情報伝達（回覧板の代わり）
西学区、光学区など

会合をZoomで行う（移動時間の削減）
（役員のみで使っている）

高齢者へのスマホ購入支援

購入支援として1万円を補助している

ICT推進課で9月からスマホ教室を行っている

スマホを購入された方には専用ページをつくって、スマホ教室開催日程が入る

その他の支援として

地域包括支援センターと毎月1回情報共有をしている

緊急通報体制整備事業

冷蔵庫に見守りセンサーを付けてドアの開閉の有無により異常を覚知する

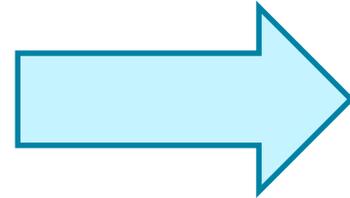
民生委員・児童委員の仕事

・地域実情把握	通年
・定例会	月1回
・活動状況報告書の提出	月1回
・ひとり暮らし高齢者巡回相談	通年
・学校等との連絡協議会	7月
・避難行動要支援者調査	9月
・共同募金(赤い羽根)に協力	10月～12月
・部会研修会	年1回
・人権問題研修会	年1回
・県東部児童福祉研究会	年3回
・証明書事務	随時

なぜなり手不足になるのか！？

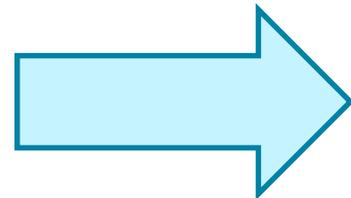
- 主な原因は
 - 誰も引き受けてくれない！！
 - 私じゃ役不足です
 - 他にふさわしい人がいるでしょ？
 - 一人では荷が重たい、、、
- 一番多いのは、、
 - 一回なったらいつ辞めれるか分からない
 - 平均年数7年 一番長い人で30年!

高齢化



若い世代でも
取り組める環境づくり
(例: タブレット導入)

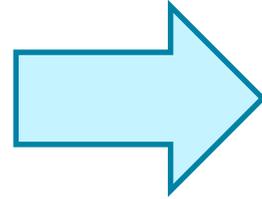
担い手不足



誰でも対応できる
仕組みづくり
(例: 地域包括ケアシステム)

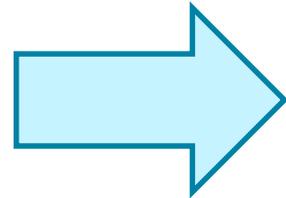
広島市の取り組み(150人欠員)

協力員の確保



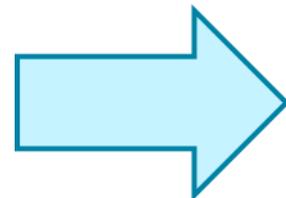
民生委員のサポート役

年齢制限撤廃



従来は78歳未満

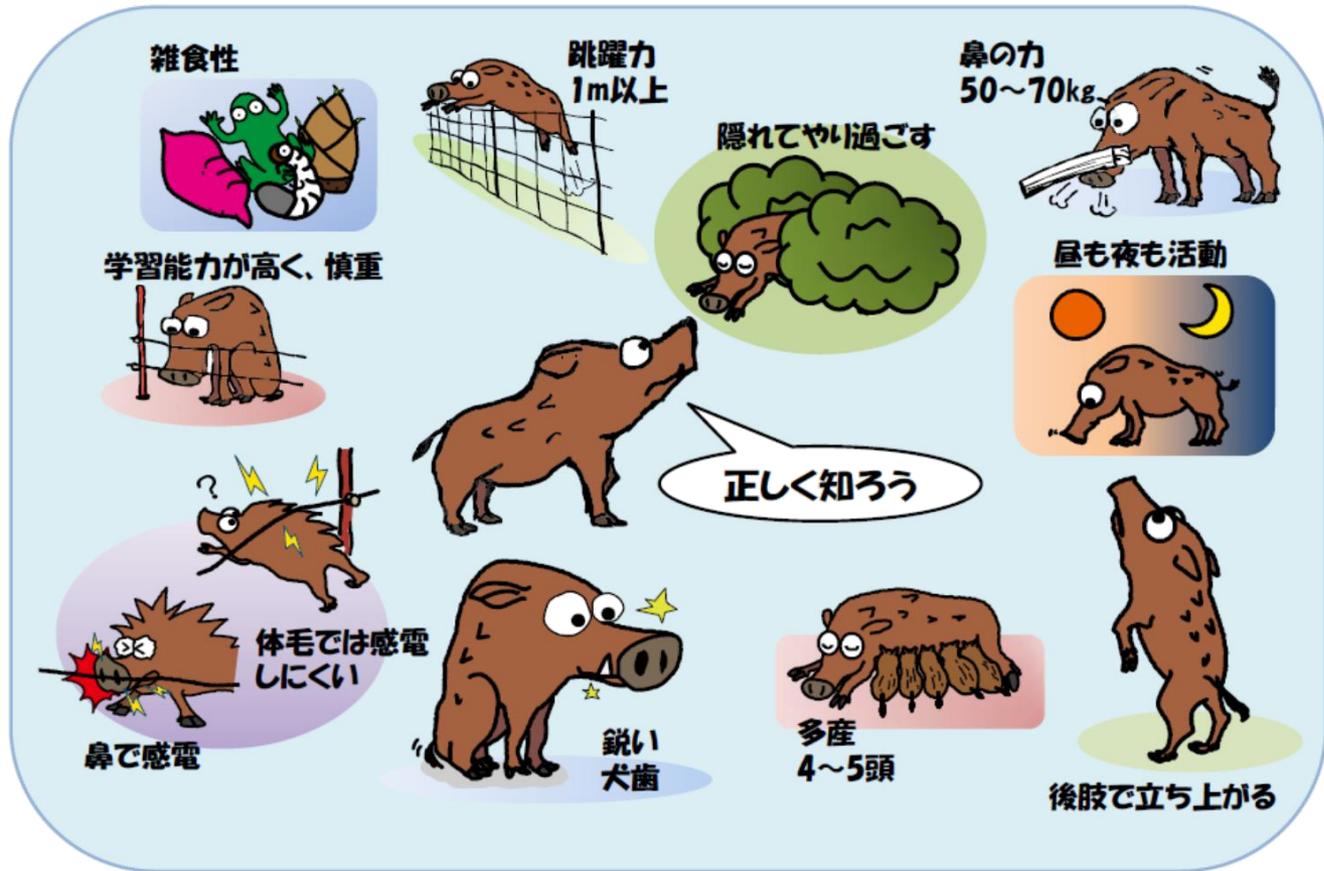
活動費の増額



年間18,000円→
30,000円に増額

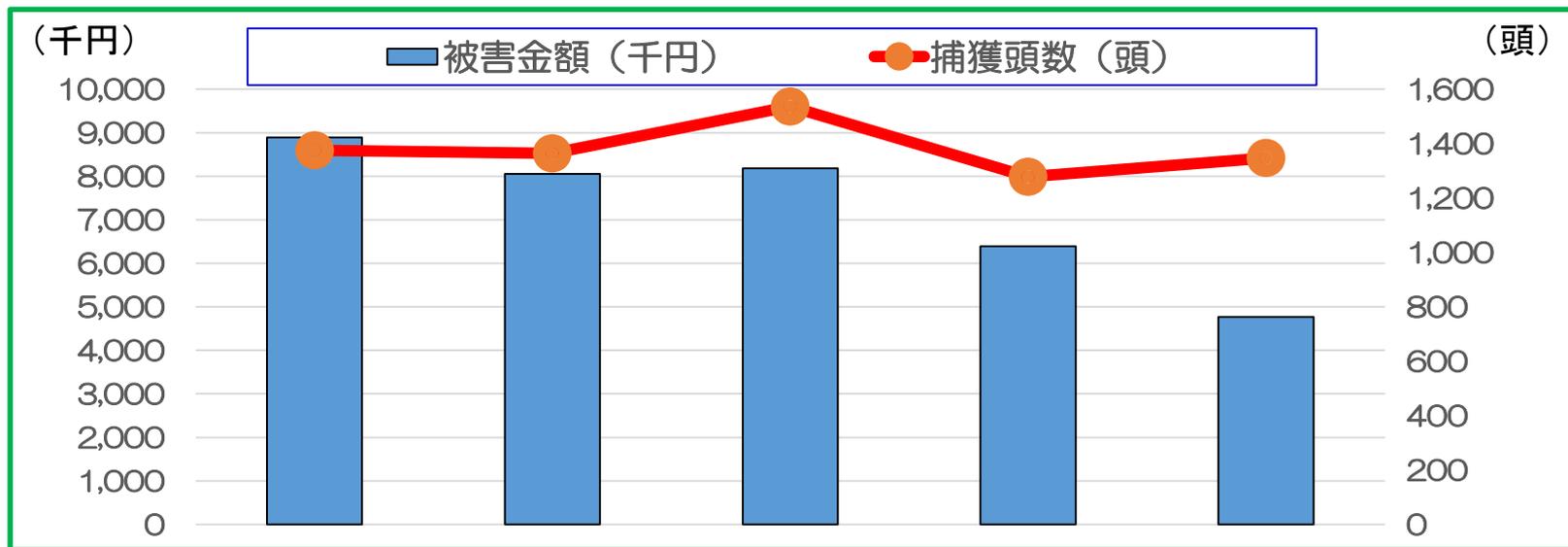
福山市の有害鳥獣対策

(イノシシ編)



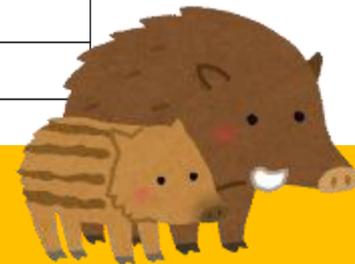
出典:福島県避難12市町村イノシシ被害対策技術マニュアル 復興庁より

イノシシ被害の現状



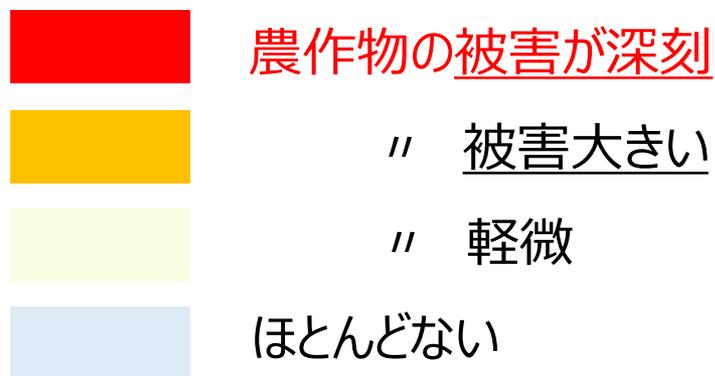
	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (令和元年)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)
被害金額 (千円)	8,890	8,058	8,182	6,391	4,770
捕獲頭数 (頭)	1,375	1,364	1,537	1,278	1,347
市街地出没 職員出動回数 (回)	24	23	28	64	65
接触事故・人身事故 (件)	0	0	0	0	4

福山市内の農作物被害金額は減少傾向
一方で市街地への出没は増加している。

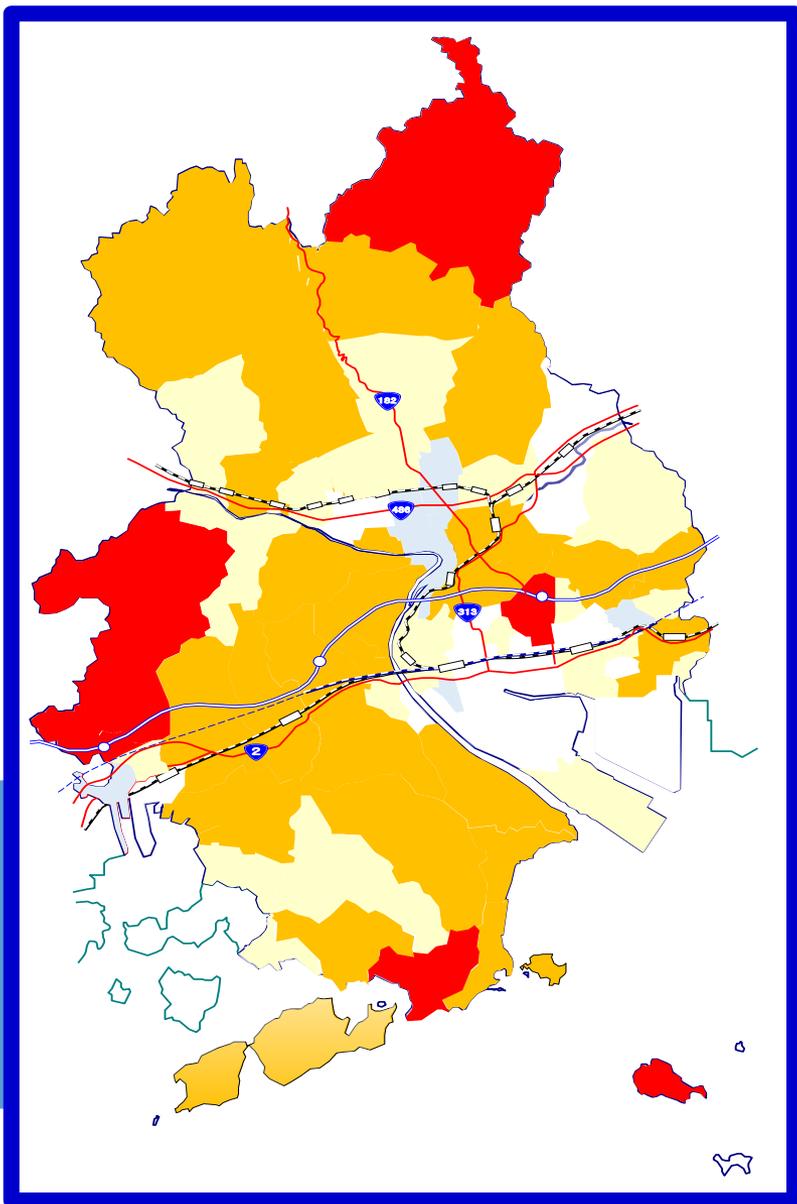


イノシシによる農作物被害（実態調査）

2021年度/2020年度 集落実態調査（広島県）より



市街地を除いて、市内のほとんどの地域でイノシシの農作物被害が広がっています。



イノシシ被害が起こる原因

放置状態

イノシシは生存本能に従い、「安全に食べられるエサ」を求めています。
次のような条件が整った場所は、イノシシが生活しやすい(過ごしやすい)場所となってしまいます。

● 耕作放棄地



● 荒廃した山林



● 無防備な田畑



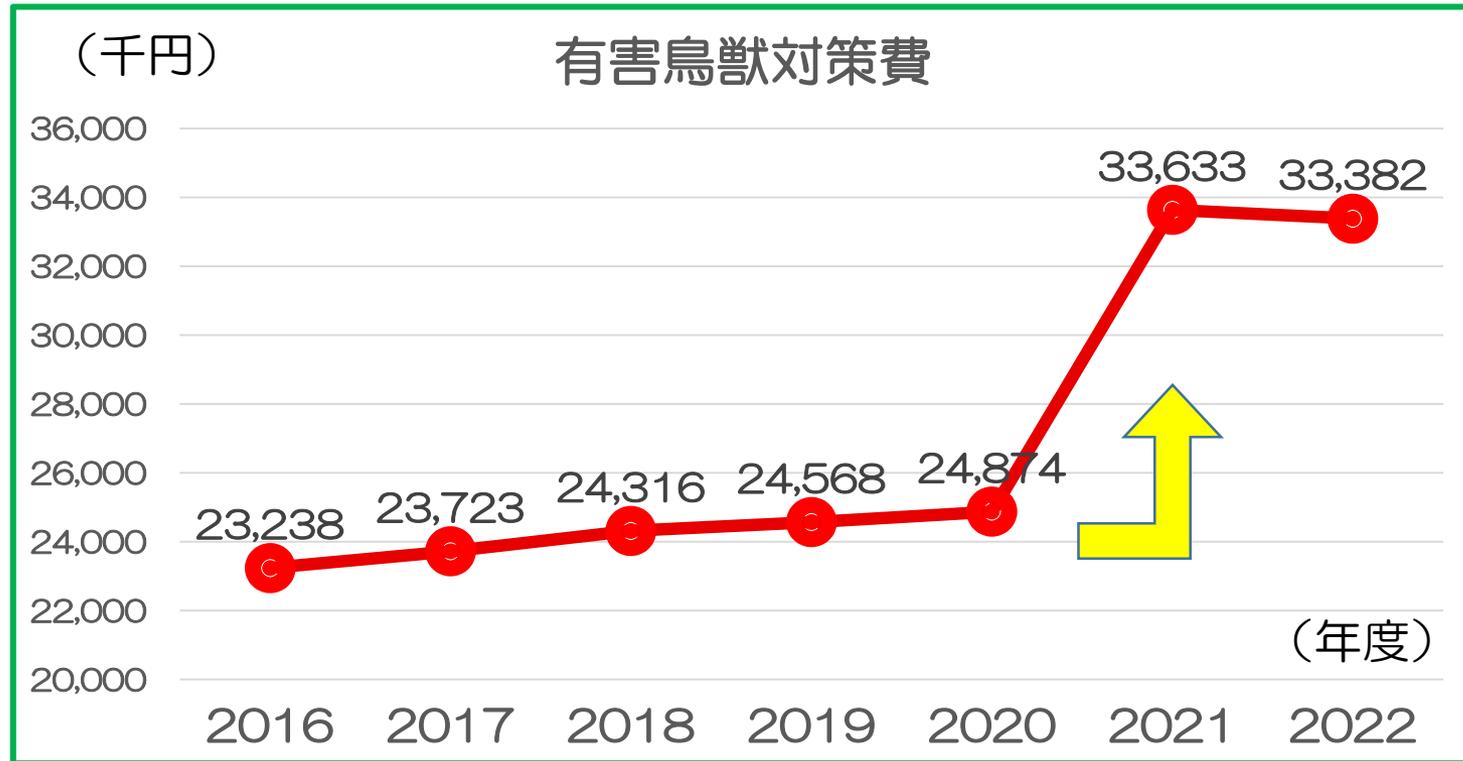
イノシシの捕獲実績 (頭)

年度	2018	2019	2020	2021
銃による捕獲	177	162	127	135
わなによる捕獲	1176	1353	1126	1177
出没捕獲	11	22	25	35
合計	1,364	1,537	1,278	1,347

捕獲頭数
横ばい傾向

※ **知能が高く捕獲も困難**
 → **被害の深刻化**

有害鳥獣対策費の推移（一般会計当初予算）⁵



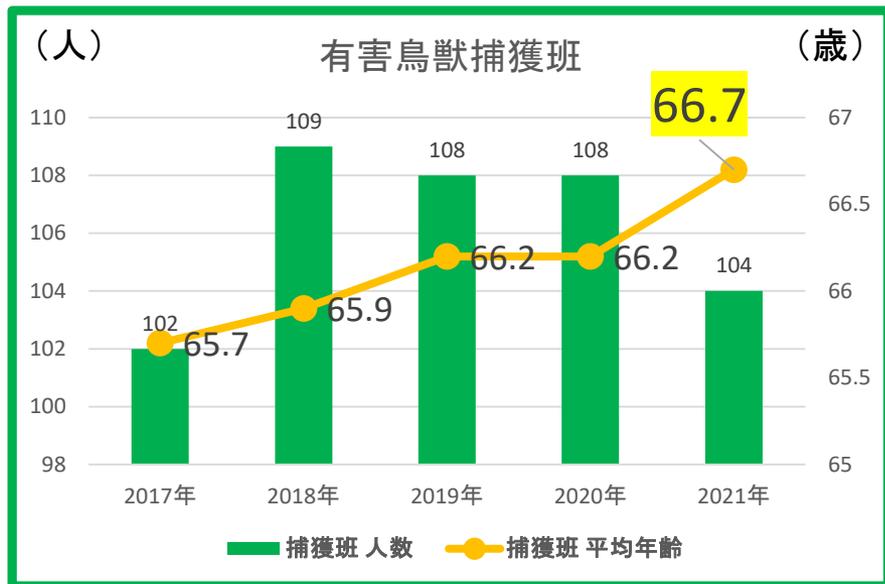
《主な構成》

捕獲班出動報奨金
各支援事業費補助
狩猟免許取得費等補助
緩衝地帯整備費補助（2021年度より）等



対策費
増加傾向！

猟友会および有害鳥獣捕獲班



有害鳥獣捕獲班（以下、捕獲班）：猟友会が推薦した人で構成

→高齡化が課題（平均年齢 66.7歳）**担い手の不足**

■ 有害鳥獣（イノシシ等）の捕獲班体制

有害鳥獣の捕獲を目的として、7つの地域に分けています。

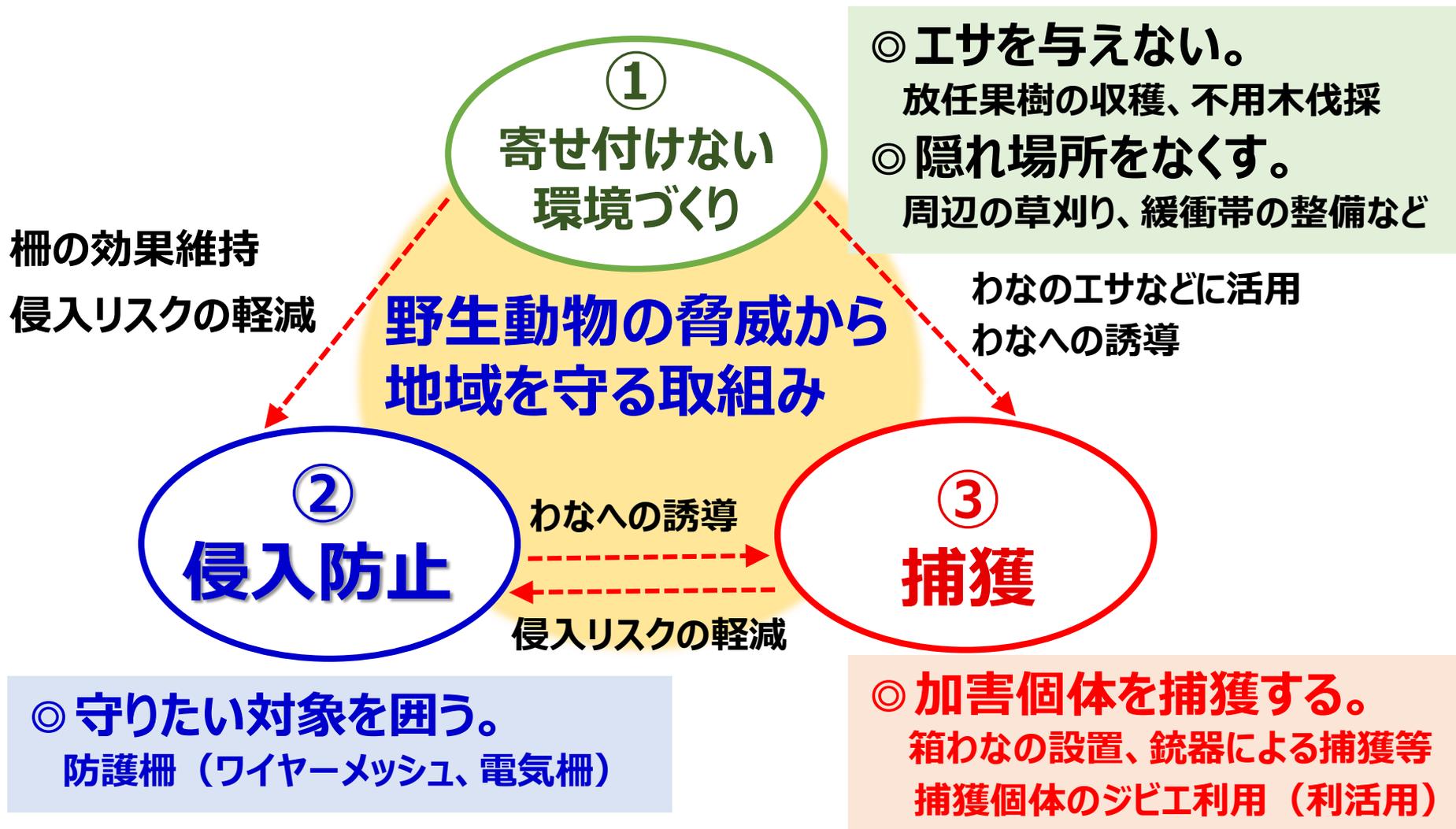
年間を通じた捕獲活動を実施（2022年は102人体制）

※捕獲したイノシシ約100頭はジビエ工場へ持ち込み。



イノシシ被害対策の3本柱

地域の実情の合わせた総合的な対策が必要！



総合的な対策を行うことで相乗的な効果が生まれる。

【1】地域活動支援事業（補助事業）

イノシシを寄せ付けないための山際、耕作放棄地などの草刈り
地域ぐるみでサル等の追い払いに対する支援

2018年	2019年	2020年	2021年
2地域	1地域	6地域	11地域



【2】緩衝地帯（バッファゾーン） 整備事業（補助事業）

2021年度（令和3年度）からの事業、荒れた山林を整備し、イノシシの潜み場をなくすことで人里への侵入を防ぎます。



【3】専門家等による講演会

有害鳥獣の対策方法等について市民向けに講演会
（有害鳥獣対策講演会、特定外来生物捕獲講習会 等）

2018年	2019年	2020年	2021年
39人（3回）	102人（3回）	96人（3回）	76人（3回）



イノシシ大規模防護柵設置事業（補助事業）

防護柵の資材に係る費用に対する補助

トタン・ワイヤーメッシュ柵、電気柵などに対する支援

年度	2018	2019	2020	2021
電気柵	4,020m	2,130m	4,019m	1,700m
	7か所	5か所	9か所	4か所
トタン・ワイヤーメッシュ柵	4,120m	4,343m	3,650m	2,700m
	8か所	12か所	12か所	8か所



ワイヤーメッシュ柵

※防護柵の整備は、2012年度～2021年度の10年間で約117kmが整備されています。

有害イノシシの捕獲

イノシシ捕獲用箱わな設置事業（補助事業）

箱わなの設置に対する補助

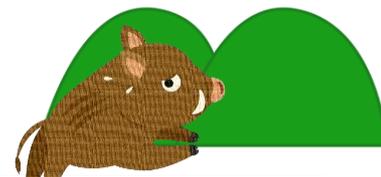
2018年	2019年	2020年	2021年
12基	41基	21基	14基

※2012年度～2021年度の10年間で94基の支援が行われています。



IoT（デジタル技術）を活用した実証実験

イノシシの「効果的・効率的な捕獲活動」をめざした実証実験を、蔵王山周辺地域で実施しています。



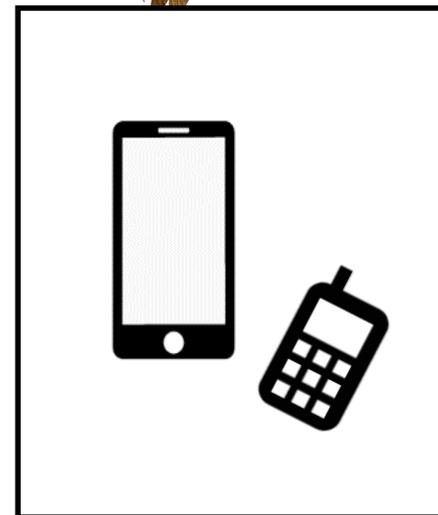
①カメラの設置
箱わな付近へ取付け



②定期送信
毎日設定時刻の画像を
送信→スマホ、パソコン
等で確認



③イノシシ等を捕獲
A I が獣種を判断

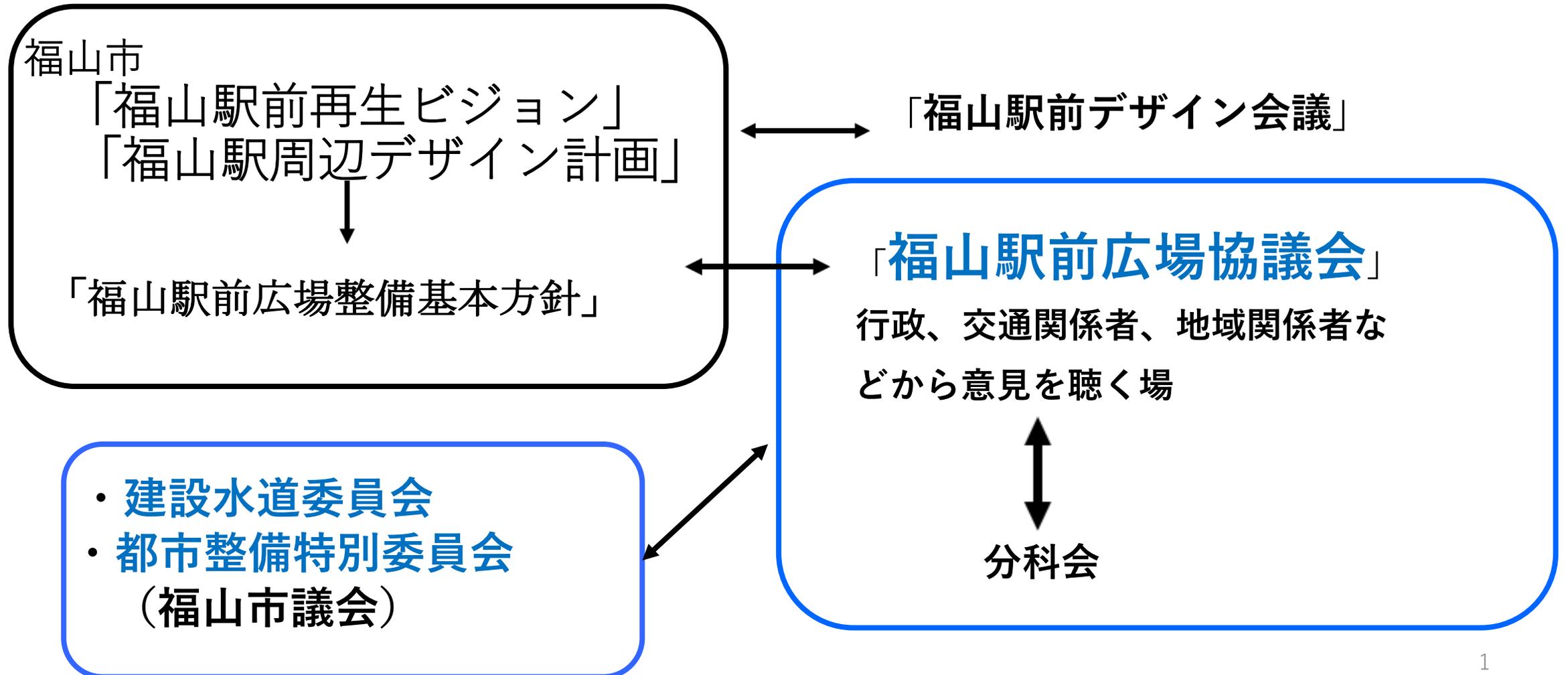


④メール送信
捕獲者（関係者）
にメール送信

【実証実験のねらい】

- ◎ 箱わなの状況の「見える化」による見回り作業の負担軽減
（設定時刻に箱わな、えさの状態が確認できます。）
- ◎ 捕獲後の止めさし（イノシシの処分）作業の効率化

福山駅周辺の再生



福山駅周辺デザイン計画

4つのエリアビジョンの実現に向け官民連携によるさまざまな事業を実施

福山城周辺エリア

歴史・文化資源を活用した
日常使いの憩いの場

福山城天守他耐震改修工事 他
福山城公園パークマネジメント
福山城公園周遊グリーンスローモビリティ

駅北口広場
整備事業(市施行)

福山城周辺道路
整備事業
(舗装美化)

福山城周辺道路整備事業
(道路機能再編)
駅北口広場整備事業
(JR西日本施行)



三之丸町周辺エリア

職住混在のスマートで
クリエイティブなオフィス街

RIM再生事業
公園等利活用
促進事業

三之丸公園

駅前交番移設
候補ゾーン

三之丸町地区
優良建築物等
整備事業

OPEN STREET
FUKUYAMA

土地有効
利用事業

健康・スポーツ事業
レンタサイクル事業

駅前広場機能検証

伏見町周辺エリア

地域の個性が詰まった
魅力発信の拠点



久松通り

西通り

中央公園
Park-PFI事業
市民の学び
支援サービス

ウォークブルエリア

中央公園 周辺エリア

多様な知識や文化が
融合する学びの拠点



福山城

福山城を一つのまちづくりの核と位置付ける。

- ① 駅北口広場：JRの駐車場、ホテル計画（中止）——→ 駅北口を「福山城口」に名称変更、「北口スクエア」（バラの植栽）の整備
- ② 大型観光バス待機場 ——→ 郵便局前、アイネスフクヤマ前に移転
- ③ 福山城の整備（天守北側鉄板張り、博物館リニューアルオープン）、福山城ライトアップ（新たな夜の観光スポット、MICE開催）、月見櫓城泊、グリーンスローモビリティの導入



中央公園周辺エリアーPark-PFI事業

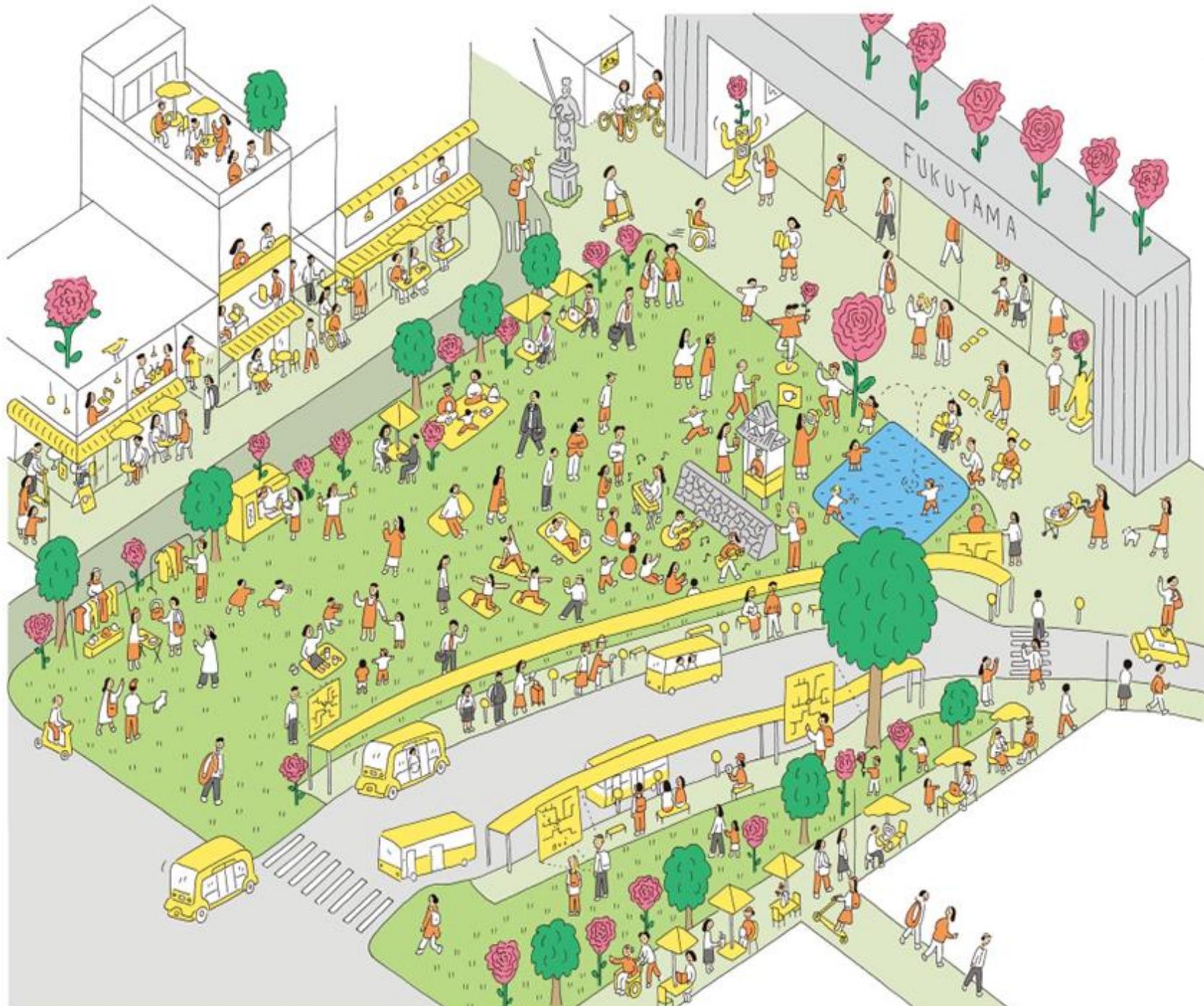


公園と図書館の相乗効果
が生ま出す居心地の良
さと周辺への回遊性
を生み出す。

駅前広場 (イメージ)

【意見】

- 交通結節機能
の維持向上
- 人の為の空間
(環境空間)
を設けて欲しい



福山城の外堀遺構の再生・活用



・地盤調査・技術的に検討。それを踏まえて、コストの試算もこれから。**文化財を大切にすることを根本に**して、方針を検討し、具体的な**活用アイデア**を考えていく。